

新型コロナワクチン接種情報



(7月31日現在)

最新の情報は市公式ホームページをご覧ください。

新型コロナウイルス感染症予防接種証明書(ワクチンパスポート)を発行します

対 象

次の全てに該当する方

- ▶海外渡航の際に証明書が必要
- ▶接種日に狭山市に住民登録がある
- ▶有効期限内のパスポートを持っている
- ▶申請日までに接種が済んでいる

必 要 書 類

- ①予防接種証明書申請書(市公式ホームページからダウンロード可)
- ②有効期限内のパスポート(顔写真のページ)の写し
- ③接種済証(接種券)の写し
※紛失などで提示できない場合はご相談ください
- ④送料分の切手を貼ってある返信用封筒

申 請 方 法 (発行は後日郵送となります)

- ①郵送申請: 〒350-1380(住所は記入しなくても届きます)

狭山市役所「新型コロナウイルスワクチン接種推進プロジェクトチーム」宛に申請書類を郵送

- ②窓口申請: 市役所7階 新型コロナウイルスワクチン接種推進プロジェクトチームへ申請書類を提出

発 行 手 数 料 無料

全対象者へ接種券は発送済みです

ワクチンの接種券は、7月12日までに全対象者へ発送しましたが、現在、国からのワクチンの供給量が安定していないため、予約枠の拡充が難しい状況となっています。今後のワクチンの供給量を踏まえ、対応していきます。

狭山市のワクチン接種への取り組み

市では、ワクチンの供給状況を考慮しながら、必要な方が着実にワクチンを接種できるよう取り組んでいます。

- ◆医療従事者、消防局の希望者への接種がおおむね完了
- ◆高齢者施設、障害者施設の接種計画を策定(8月末までに接種を完了予定)
- ◆エッセンシャルワーカーへの優先接種を実施

市内在住・在勤の保育士や幼稚園教諭、小・中学校の教職員をはじめ、狭山商工会議所とも連携を強化し、医療分野や福祉関係事業者、市民生活に必要な業種に従事する希望者へ接種を実施しています。

- ◆ひとり親世帯の保護者に優先接種を実施
- ◆希望する小学生から大学生への接種を夏休み中に実施

狭山市コロナワクチンコールセンター ☎0570-077-380

接種に関する一般的な相談、接種予約

(土・日曜日、祝・休日を除く8時30分～17時15分)

問合せ 新型コロナウイルスワクチン接種推進プロジェクトチームへ内線6024



天性の才能を持つ、 異色の「看護師ボクサー」

つばた 津端 ありささん

プロフィール

狭山市出身。2019年全日本女子選手権優勝。2020年オリンピックアジア・オセアニア予選出場。2021年コンスタンチン・コロトロフ記念国際トーナメント準優勝。今年の6月まで市内のボクシングジムで練習を積む。

7月23日に行われた東京五輪の開会式。その冒頭、一人の女性がランニングマシンでトレーニングを行っているシーンをご覧になりましたか。

彼女の名前は津端ありささん。狭山市出身で、現在は都内で看護師として働く「ボクサー」です。アマチュア選手とはいえ、日本選手権で優勝したその実力は折り紙付き。しかし、異例の二足のわらじを履き続けるのは、そう簡単ではありません。

高校までバスケットボールに打ち込んでいた津端さんが、ボクシングを始めたのは2018年の10月。驚くことに日本選手権を制する1年ほど前でした。

「ダイエツ目的で始めたのがきっかけでした。自由にトレーニングするよりも、しっかりとトレーナーをつけて、半強制的に体を動かす方が性に合ってるかな、と思っていました。たまたま出合ったのがボクシングでした」

それからわずか2か月後、大器の片鱗を見せ始めます。

「通っていたジム内の紅白戦で対戦した相手が、日本選手権に出場した経験のある選手でした。負けはしたものの、自分の中で手応えを感じたんです」

この日をきっかけとして、津

端さんは競技としてボクシングに向き合うようになります。

そして2019年10月、見事に日本選手権で優勝し、日本代表選手に。一躍、東京五輪出場に名乗りを上げます。

「ボクシングを始めたときは、自分が五輪に出るなんて夢にも思っていなかったが、頑張ったら出られるかも、と意識を始めた」

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で最終予選が中止となり、出場者は世界ランキングにより選出されることに。競技歴の浅い津端さんはリングに上がることもなく、その願いは、なかなか消えてしまいます。

「五輪のために職場も変えて、最終予選に向けて調整をしているさなかの決定でした」

その時はショックは受けましたが、くよくよしている時間はありません。予選の中止が決まってから間もなく、ロシアで行われた国際大会に気持ちを切り

替えて臨みました。その結果、見事銀メダルを獲得し、着実に成長を遂げる津端さんの姿が。

「この大会は、試合自体もさることながら、レベルの高い選手との代表合宿がとてもいい経験になりました。大会の経験が少ない分、出場することに得るものが多いのかなと思います」

最後に、今後の展望について伺いました。

「元々は意識をしていなかった五輪ですが、いざ出られないとなったら、余計に出たい!という思いが強くなりました。現在は、いろいろな大会に出て経験を積みたいと思っています」

3年後のパリ五輪を目指して、異色の看護師ボクサーは狭山市から世界に羽ばたこうとしています。

